

個人投資家向け
オンラインセミナー

SEKIDO

代表取締役社長
関戸 正実

2021年5月

2021年3月期（59期）の結果と要約 | 通期決算サマリー

(百万円)	58期	59期	増減額	増減率
売上高	6,620	6,773	+153	+2.3%
営業利益	△379	180	+559	—
経常利益	△410	130	+540	—
純利益	△578	117	+695	—

2021年3月期（59期）の結果と要約 | 特別損失および営業外費用の計上について

特別利益及び特別損失の計上

1. 特別利益の計上について

2021年3月期第1四半期累計期間（2020年3月21日～2020年6月20日）において、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金等の支給申請額10百万円を補助金収入として特別利益に計上いたしました。

2. 特別損益の計上について

2021年3月期第1四半期累計期間（2020年3月21日～2020年6月20日）において、コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言に伴う臨時休業等の期間中に発生した直営店の固定費（人件費・地代家賃など）12百万円を新型コロナウイルス感染症関連損失として特別損失に計上いたしました。

営業外費用（為替差損）の計上

1. 営業外費用の内容

2021年3月期第4四半期会計期間において、ファッション事業の季節要因に加え、美容事業の主力ブランド「MEDIHEAL」日本総代理店への移行などによる輸入量増加局面での為替の米ドル高並びに韓国ウォン高の影響により、為替差損11百万円を営業外費用に計上いたしました。

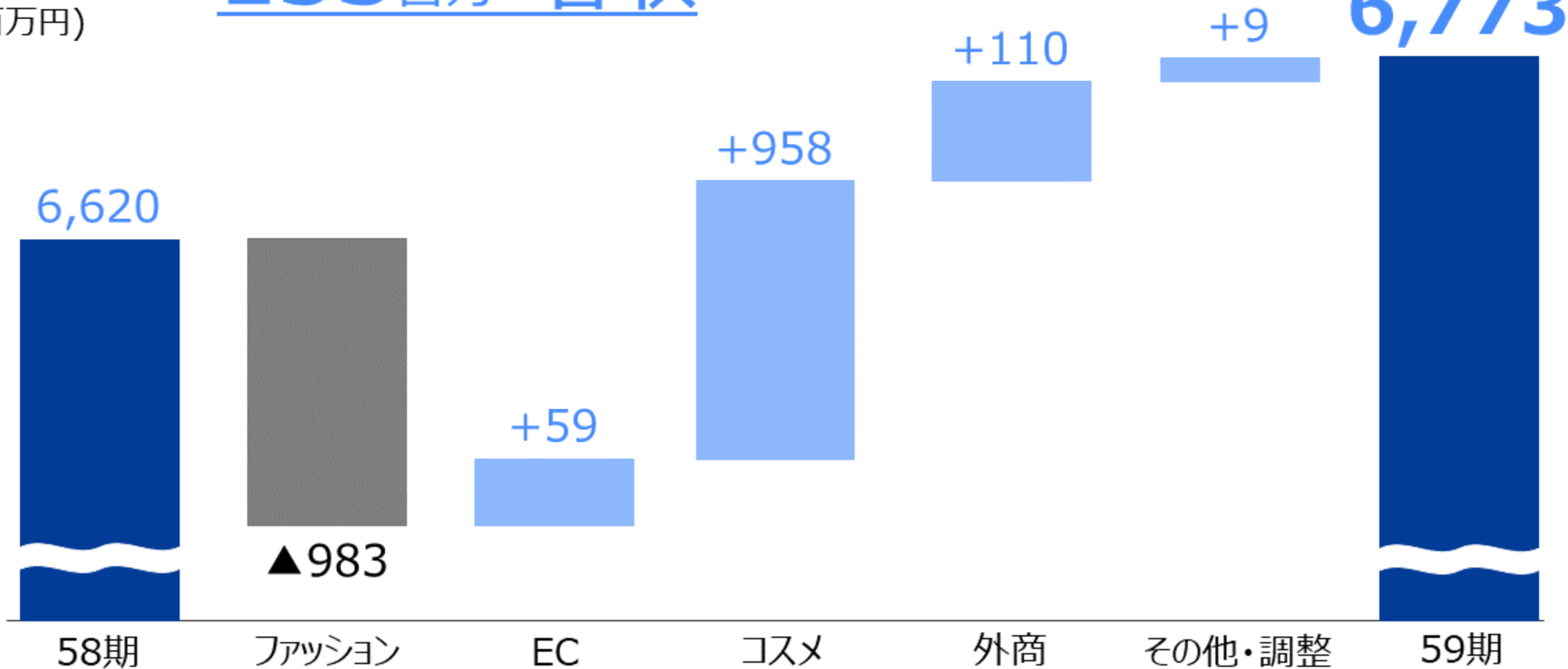
2021年3月期（59期）の通期決算サマリー

ファッション	売上	4,197 百万円	(YoY- 19.0 %)	閉店、コロナ禍で休業・催事中止により減収 アプリを中心とした販促への切り替えに成功し 顧客育成と広告宣伝費削減を実現、増益
	営業利益	131 百万円	(-)	
EC	売上	890 百万円	(YoY+ 8.4 %)	体制強化によって売上は堅調に推移し増収 コロナ禍による売れ筋商品の原価高騰で減益
	営業利益	6 百万円	(YoY- 49.5 %)	
コスメ	売上	1,277 百万円	(YoY+ 300.4 %)	11月にMEDIHEAL総代理店契約を締結 流通整備と販路拡大等で、増収増益 すでに主力事業に成長し、さらなる投資を行う
	営業利益	245 百万円	(YoY+ 414.8 %)	
外商	売上	360 百万円	(YoY+ 43.7 %)	お取引先様のコロナ対策で補助金・助成金制度を 利用した設備工事の発注が増加 結果、増収増益となった
	営業利益	80 百万円	(YoY+ 390.4 %)	

2021年3月期（59期）の結果と要約 | 売上高増減分析

売上高
(百万円)

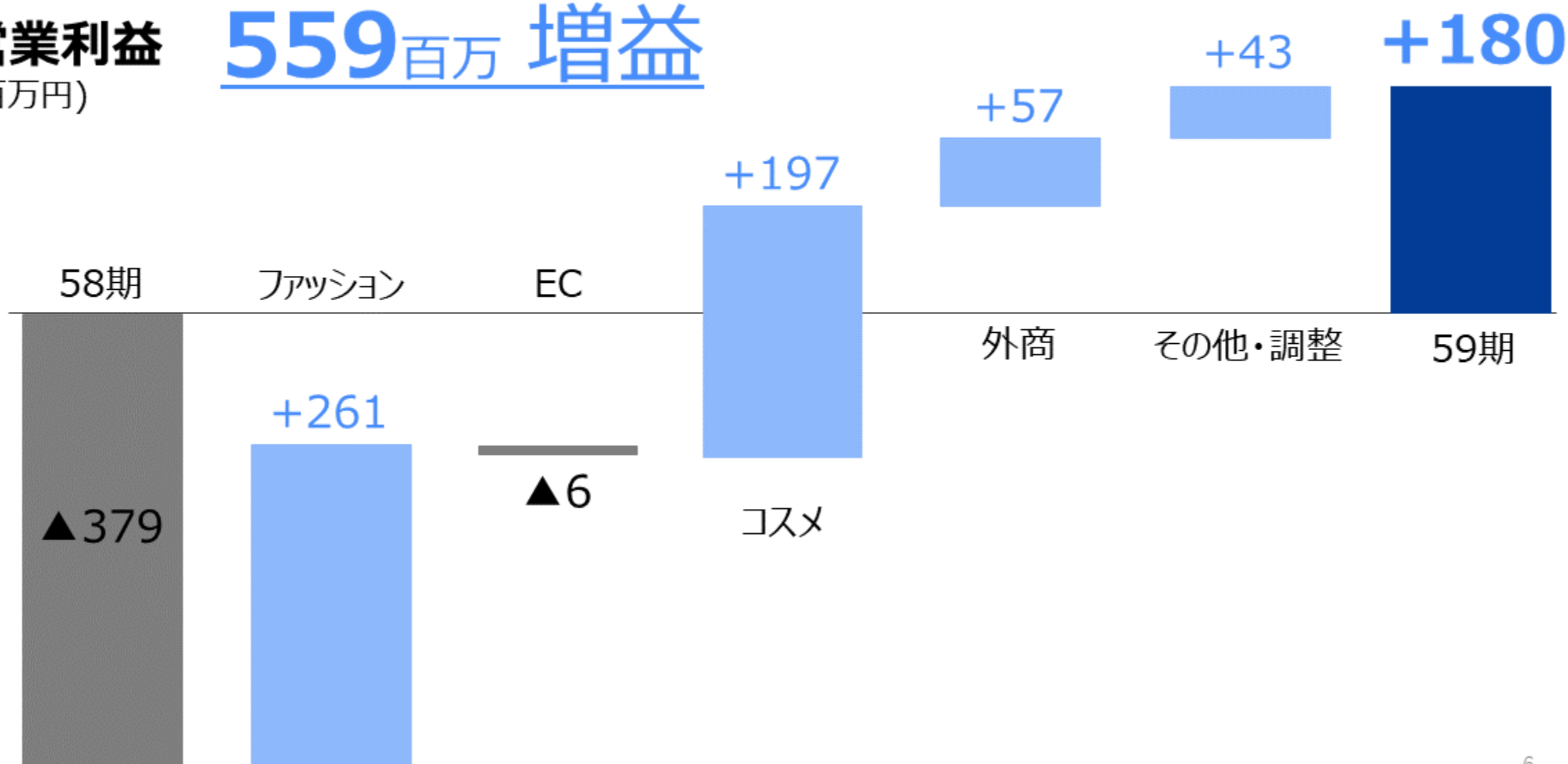
153百万 増収



2021年3月期（59期）の結果と要約 | 営業利益増減分析

営業利益
(百万円)

559百万 増益



総括

ファッション 引き続き、アプリを中心とした集客活動を行い、お客様に愛されるお店作りを目指す

EC モール出店による販路拡大と決済方法の拡充を行い、ECサイトをよりご利用いただけるようにする

コスメ 販路拡大、新商品発売を進めながら、より多くのお客様にご利用いただけることを目指す

外商 引き続きお取引先様のコロナウイルス感染症対策の設備投資を含めたご要望にお応えする

人材 渡航規制が解除され次第、事業を開始できるよう体制を整える

セグメント別状況と今後の展望 | コスメティック事業

MEDIHEALの日本総代理店契約を締結

11月1日、MEDIHEALの日本総代理店契約を締結、MEDIHEAL全商品について日本国内での独占販売権を取得した。

L&P COSMETIC社からは、MEDIHEAL製品の日本国内での販売、およびブランディング・マーケティングを含めた包括的な営業活動が評価された。



(左)当社代表 関戸正実 (右)L&P Cosmetic社 Choo Kyo-In代表
L&P COSMETIC社 本社にて